

社会的カテゴリーの本質に関するしろうと理論 (2)

- 精神障害者に関する本質主義的信念 -

浅井 暢子¹

唐沢 穰²

(¹神戸大学大学院文化科学研究科, ²神戸大学文学部)

Key words: カテゴリー表象, 本質主義的信念, ステレオタイプ

人々は、精神障害の起源や症状、また患者の性質に関して「しろうと理論」を持っていると言われている。本研究は、このしろうと理論の基礎にあると考えられる「心理的本質主義 (psychological essentialism)」について検討した。

心理的本質主義とは、カテゴリーには核となる「本質 (essence)」が存在するという信念である (Medin, 1989)。この「本質」は存在するという信念さえあれば、何であるかは特定される必要はなく、実際に存在しなくてもよい (Rothbart & Taylor, 1992)。社会的カテゴリーの背景にこのような本質が知覚されるとき、それはカテゴリーの特徴や他のカテゴリーとの差異を説明づける根拠となり、ステレオタイプや偏見の形成・維持をもたらすと考えられる (Yzerbyt & Rocher, 2002; Haslam, Rothschild & Ernet, 2000)。すなわち、本質の知覚は、カテゴリーに対する人々の態度や行動に影響を与える重要な要因といえる。そこで、本研究では、精神障害者カテゴリーに関する本質の知覚に焦点を当て検討した。また、比較対象として、精神障害以外の疾病患者カテゴリーを設け、精神障害者カテゴリーに関する信念の特徴について解釈を試みた。

方法

回答者: 神戸市内の国立 A 大学の学生 45 名, 京都市内の国立 B 大学の学生 153 名 (計 198 名; 男性 118 名, 女性 80 名; 平均年齢 19.3 歳)。

質問紙: 精神障害者カテゴリー 4 個と精神障害以外の疾病患者カテゴリー 4 個を含む, 48 個の社会的カテゴリー (「女性」「黒人」「警察官」など) に関して質問紙調査を行った。各回答者には、社会的カテゴリー 5~6 個についての評定を求めた。カテゴリーの組み合わせと呈示順序を変えた質問紙を作成し、カウンターバランスをとった質問紙では、カテゴリー毎に、本質主義的信念の測定尺度 6 項目 (自然性・必然性・不変性・均一性・帰納可能性・排他性; Haslam ら, 2000) について両極 7 件法で評定を求めた。評定値は、値が大きいほど各項目が表す性質をカテゴリーが持つと知覚されていたことを示す。

手続き: 調査は、講義時間の一部を用いて、集団一斉法で実施した。所要時間は約 20 分であった。

結果と考察

因子分析: カテゴリー毎に、本質主義的信念測定尺度の 6 項目それぞれについて平均評定値 ($N = 23 \sim 27$) を算出した。これをもとに、カテゴリーを分析の単位とした因子分析を行った。その結果、カテゴリーに関する本質主義的信念が「自然物性」と「実体性」という 2 次元構造を持つことが示された (表 1)。

本質の知覚: 「自然物性」「実体性」に対して回帰法による因子得点を算出し、それぞれを自然物性得点、実体性得点とした。図 1 は、自然物性得点を X 軸、実体性得点を Y 軸とする

2 次元上に疾病関連のカテゴリーの因子得点をプロットしたものである。また、主な社会的カテゴリーの因子得点の分布を、領域ごとに灰色の円で同図内に示した。図 1 からは、図の左下象限にガンや心臓病の患者カテゴリーが集中している一方で、統合失調症や過食症患者などの精神障害者カテゴリーは右上象限に位置づけられていることが見て取れる。つまり、精神障害者は、他の疾病の患者よりも、自然物性と実体性がともに高いと評価されていた。このことは、人々が他の疾病よりも精神障害の背景に、何らかの本質の存在を知覚していることを示唆する。

Yzerbyt ら (2002) の指摘にもとづくと、精神障害者に対する本質の知覚は、人々の精神障害者への態度や行動に影響を与えると考えられる。今後は、本質の知覚と偏見の関連について詳しく検討する必要がある。

表 1. 本質主義的信念測定項目に関する因子分析

因子と項目	平均 (SD)	因子負荷量
・自然物性 (寄与率=40.07%)		
自然性	3.27 (1.13)	.60
不変性	3.37 (.93)	.94
排他性	2.15 (.52)	.98
・実体性 (寄与率=31.08%)		
帰納可能性	2.49 (.51)	.94
均一性	3.78 (.70)	.81

(主因子法, バリマックス回転)

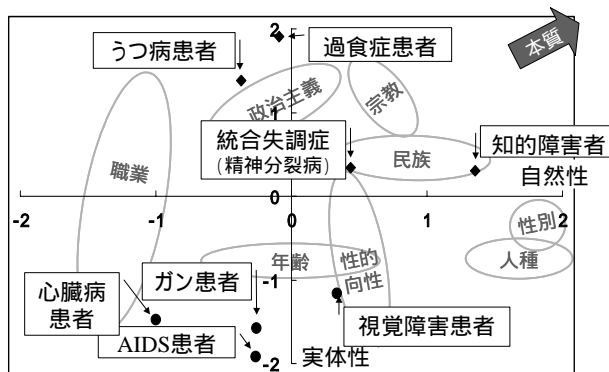


図 1. 疾病カテゴリーに関する本質の知覚

引用文献

Haslam, N., Rothschild, L., & Ernst, D. (2000) Essentialist beliefs about social categories. *Brit. J. Soc. Psy.*, **39**, 113-127. Medin, D. L. (1989) Concepts and conceptual structure. *Amer. Psy.*, **44**, 1469-1489. Yzerbyt, V. Y., & Rocher, S. (2002) Subjective essentialism and the emergence of stereotypes. In C. McGarty, V. Y. Yzerbyt, & R. Spears (Eds.), *Stereotypes as explanations* (pp. 38-67). Cambridge, UK: Cambridge U. Press. Rothbart, M., & Taylor, M. (1992) Category labels and social reality. In G. Semin & K. Fiedler (Eds.), *Language, interaction and social cognition* (pp. 11-36). London: Sage.

(ASAI Nobuko, KARASAWA Minoru)